

2022-23年度 地区運営方針(案)・地区目標(案) につきましては、このあと内野次期幹事から報告していただきます。

最後に、NYのストロベリー・フィールズにあるジョンレノンの記念碑にある「IMAGINE」1971年 John Lennon & Yoko Ono によって作曲された「IMAGINE」の一節は

想像してごらん  
君は僕を夢想家だということかもしれない  
でも一人じゃないはず、  
いつかあなたもみんな仲間になって  
きっと世界は一つになるんだ

\*\*\*\*\*

### 次年度幹事 内野 聡

去る3月21日、クラブ事務局にて菊地次年度会長とPETS(会長エレクト研修セミナー)にZoom参加いたしました。本年度もオンライン開催であり、会長エレクト及び次期幹事は同じ内容を受講しました。午前中は次年度テーマ解説および次年度方針の説明、午後はジョーンズ次期RI会長からのメッセージ視聴、そして各委員会からの説明がありました。



#### 【I. テーマ】

始めに浅原ガバナーエレクト(GE)より次期RI会長テーマの解説および次年度方針についての説明がありました。ジェニファー・ジョーンズ次年度RI会長テーマは「**IMAGINE ROTARY イマジンロータリー**」です。浅原GEからはこのメッセージを、コロナに依って中断、中止を余儀なくされた奉仕の活動を再開し、親睦により絆を深めることでその想像が可能だとの説明がありました。

次に浅原GEからの地区運営方針の発表があり、及び第2620地区テーマは「**絆を深めて、ロータリー活動を再開しよう**」となりました。懇親会など親睦活動を通して、会員増強の根源となる奉仕活動を復活させようとのことでした。

上記を受け、菊地次年度会長は沼津北ロータリークラブの次年度クラブテーマを「**想像しよう 一人ひとりが**」と決めました。

#### 【II. 会員負担金】

- 1.RI人頭分担金【US\$71/人・年】
- 2.規定審議会年次賦課金【US\$1/人・年】
- 3.地区資金負担金【¥21,000/人・年 \*35歳未満は半額】

#### 【III. 地区目標】

- 1.会員維持・増強
- 2.ロータリーブランドの強化により、公共イメージの向上を図る
- 3.地域に根差したクラブ独自の奉仕活動は、会員増強の根源
- 4.RLIの活用による人材の育成、次期リーダーの育成
- 5.青少年交換学生の募集再開
- 6.米山記念奨学事業への参加と支援を通じてクラブの活性化を図る
  - ・奨学生支援【世話クラブ・カウンセラー引き受け】
  - ・寄付促進【¥16,000以上/人・年(普通¥4,000・特別寄付¥12,000)】
- 7.ロータリー財団への寄付と補助金の積極活用
- 8.マイロータリー100%を目指す
- 9.米山梅吉記念館の支援
  - ・(公財)米山梅吉記念館 賛助会員¥3,000/人・年
- 10.ポリオ撲滅を歴史の1ページに(ロータリーの対外的最優先事項)
- 11.IT活用の促進
  - ・ガバナー月信電子配信
  - ・ロータリークラブセントラルの活用(My Rotary全員登録)
- 12.地区委員会・委員の積極的活用
- 13.地区事務所の機能充実
  - ・名称を国際ロータリー第2620地区 地区事務所に変更
  - ・地区事務所に地区運営機能のすべてを集約
  - ・地区事務所にガバナー、エレクト、それぞれの業務をサポートする専任スタッフの配置
- 14.地区大会(2022年11月5日・6日)への参加
- 15.国際大会(メルボルン2023年5月27日～31日)への参加

クラブ、地区、財団、RIと判らない事ばかりですが、菊地会長の年度テーマを達成するべく努めますので、皆様ご協力の程よろしく願いいたします。